

新潟県農業共済組合



1 新潟県の紹介

国内屈指の豪雪地帯を有し、信濃川・阿賀野川の両大河が流れ、広い平野を持つ新潟県。全国第5位の広大な面積の本県は文化、歴史、農林水産物、気候などが4地方に分かれています。

上越地方は、国石・ヒスイの産地、「日本スキー発祥の地」としてスノーリゾートが発展、日本三大夜桜「高田城址公園観桜会」などがあります。

中越地方は、米のトップブランド「魚沼産コシヒカリ」の産地、日本三大花火大会「長

岡大花火大会」があり、山沿いは全国有数のスノーリゾートやイベント地となっています。

佐渡地方は、国鳥・トキの生息地であり、令和6年に世界文化遺産に登録された「佐渡島の金山（さどのかいざん）」は、国内外から観光客が急増しています。

下越地方は、県都・新潟市を中心に製造業・工業が発展し、石油ストーブ、金属洋食器、米菓、切り餅、水産練製品などの国内シェアトップの企業が数多くあります。

2 新潟県の農林水産業

本県の農業産出額（令和5年）は2,281億円（全国14位）。その55%を占める生産量全国1位の米は「コシヒカリ」を中心に早生品種の「こしいぶき」、晩生品種の「新之助」など、多くの品種を作付け、我が国の食料供給地としての役割を果たしており、近年は海外輸出も伸びています。また、高温に強い極早生品種を開発し、さらなる米の安定供給を目指します。



果樹では、ぶどう、なし、もも、かき、いちごなど多種多様な果実が栽培されており、新潟市南区を中心として栽培される西洋ナシ「ル・レクチエ」は、全国の8割を本県が生産しています。

畜産では、全国肉用牛枝肉共励会で日本一を獲得した「村上牛」をはじめ品質が高い食肉を、ブランド牛「にいがた和牛」と



して全国に出荷しています。

花きでは、切り花出荷量全国1位のチューリップをはじめ、オリエンタル系ユリやアザレアなどの栽培が盛んに行われています。

きのこ栽培も盛んで、まいたけ生産量は全国1位です。

水産業では、錦鯉の生産が長岡市・小千谷市などで行われており、錦鯉ブームも相まって世界各国に輸出され、輸出額は年々増加しています。



③ 新潟県農業共済組合の概要

- 本所所在地：新潟県新潟市江南区和田字下通
635番地1
- 理事定数：22名
- 監事定数：3名
- 職員数：305名（令和7年1月現在）



④ 新潟県農業共済組合（NOSAI新潟）の活動

令和3年4月に合併し、本所・6支所・2センターで農業保険を推進しています。

温暖化による異常気象（すでに常態化？）、頻発化・激甚化する自然災害、増え続ける獣害、農業者の高齢化と後継者不足、生産コスト増など、我が国の農畜産業は今も昔もリスクを背負って行かれています。

農業共済・収入保険によってそのリスクを軽減できるよう、農業者の近くで、農業者とともに生きるNOSAIでありたいと活動しています。

また、損害防止事業にも積極的に取り組んでおり、関係機関と連携・協力し、産業用無人航空機による水稻・大豆・麦の病害



虫防除薬剤散布を県内全域で実施する（令和7年度延べ面積:42,829ha）など、様々な分野で損害の未然防止と高品質な農畜産物生産に協力しています。

合併により財務状況等の改善が図られましたが、今後、さらに足腰の強い組合を目指すため、業務執行体制の改善・改編、運営コストの低減、役職員の意識啓発などを図ってまいります。



⑤ 最後に

本県は「ラーメン王国」を自称しており、新潟あっさり醤油・新潟濃厚味噌・燕背脂・長岡生姜醤油・三条カレーラーメンの5種の味（他説あり）でPRしています。新潟

にお越しの際はぜひ味わってください。（新潟市と山形市はラーメン消費量全国1位を争っており、残念ながらこの3年間は2位に甘んじています。）